



東北小だより

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

開校56年目

新座市北野3-1-1 Tel 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

令和6年度1月号
全児童数 825名

コツコツと きたえた〇〇 たからもの

～ 笑顔いっぱい 歌声響く 東北小学校 ～

校長 齊藤 直之

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年も子供たち一人一人がいつも笑顔で、生き生きと活動できる1年となりますよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

昨年引き続き本校の教育活動に対しまして、温かなご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年度の冬休みは、いつもより少し長い休みとなりました。2学期の終業式では、子供たちに、「冬休みにやると、皆さんのいろいろな力が、ぐ～んとパワーアップするすばらしいことがあります。それは、何でしょう？」そんな問いかけをしました。答えは、『お手伝い』です。例えば、お掃除をするために力を入れて磨いたり、重いものを運んだりすると、体力がアップします。古新聞を紐で結わえたり、お料理をしたりすると、手先が器用になります。また、計画性や段取りを組むといった力も高まります。このことは、勉強をする上でも、スポーツをする上でも大切な力であり、大人になっても必要な力です。さらに、“こうした方が嬉しいかな” “ああした方が相手も喜ぶかな” と考えながらお手伝いをする中で、思いやりの心も育ちます。

お子さんのお手伝いの様子はいかがでしたでしょうか。見ていると、危なっかしくてひやひやしたり、自分がやってしまった

方が早いと感じたりするような場面がたくさんあったことでしょうか。でも、『お手伝い』には、子供を成長させる、よいことがたくさんあります。冬休みが終わっても、お手伝いを継続してできるよう、お声かけをお願いします。

さて、新年を迎え、お子さんはどのような抱負を抱いたのでしょうか。「25メートルを泳げるようになりたい」「代表委員になってみたい」「所属の野球チームで、レギュラーになりたい」等、一人一人すべての子供が、それぞれの夢を膨らませて欲しいと思います。そのためにも、具体的な目標をもって、日々を大切に、着実に積み上げて欲しいと思います。

今日の始業式では、「こつこつ」取り組むことの大切さについて、話をしました。お正月ということ、お年玉を手にしたお子さんもいらっしゃることでしょう。お金も「こつこつ」貯めるとよいでしょう。また、学力も豊かな心も体力も「こつこつ」貯めることが、その後のパフォーマンスに大きく影響していきます。

埼玉県の体力向上の合い言葉は、「**コツコツと きたえた体は たからもの**」です。これは、いろいろなことに置き換えることができます。短い時間の「こつこつ」を積み上げて、体力を、学力を、周りの人へのやさしさを高める。こつこつときたえた様々な力の蓄積は、将来に向けて、きっと大きな宝物となることでしょうか。